



JAPAN AIRLINES

JAL Times

2022年度 第3号

日本航空 旅客販売推進部/2022年5月10日発行

JALのサービス最新情報

JAL SMART AIRPORTが国内5空港への展開が完了しました。便利になった手荷物のお預けの詳細や、JALの地域創生や新規事業についてご紹介させていただきます。

国内線

- JAL SMART AIRPORT -

セルフでスムーズに！ Self Baggage Drop（自動手荷物預け機）

自動チェックイン機とSelf Baggage Drop（自動手荷物預け機）のご利用で、カウンターに並ばずに、完全セルフで、スムーズにお手荷物をお預けいただけます。タッチパネルは非接触化しており、触れずにお手続きいただけます。ご搭乗の際、ご利用ください。

(設置空港：羽田空港・新千歳空港・伊丹空港・福岡空港・那覇空港)

STEP1

自動チェックイン機
手荷物タグ 発行/貼付け



STEP2

Self Baggage Drop
手荷物預け



■ 自動手荷物預け機の流れを動画でご紹介中です。詳しくは[こちら](#)(JAL Webサイト)をご確認ください。

国内線

AIRBUS A350

羽田－新千歳・伊丹・福岡・那覇、伊丹－那覇線 運航中！

環境への
取り組み

A350は革新技术の組み合わせにより、同サイズの既存機種に比べて、大幅な低騒音化と燃費改善を実現。特に、燃費は約25%の性能向上が見込まれており、二酸化炭素や窒素酸化物などの排出量削減に大きく貢献します。*エアバス公表値

JAL on YouTube
動画紹介中！



全席に個人モニター・AC電源・USBポートを設置！



ゆとりあるシートで、快適な空間をご提供。



ファーストクラス



クラスJ



普通席



※スケジュール・使用機材・運航便数に変更される場合がございます。
※最新の情報はJAL Web サイトでご確認ください。

上記の情報は、2022年5月10日時点の情報に基づきます。最新の情報はJAL Webサイトでご確認ください。

◆ JALの新たな活動

客室乗務員などの社員が、体験やチャレンジを通じて、地域の魅力発信を行います。

地域創生 地域活性化活動「JALふるさとプロジェクト」、YouTubeチャンネル開設

「JALふるさと応援隊」として活動する客室乗務員やふるさとを応援するJALグループ社員が、体験やチャレンジを通じて、日本各地のさまざまな魅力を発信する動画をお届けします。地域食材を活かした料理動画や、地域の伝統文化、特産物、観光ポイントなどの魅力的な地域資源にフォーカスした動画など、社員による「ふるさとYouTuber」としての活躍にどうぞご期待ください。

■ 動画コンテンツ(一例)



ふるさとの“オイシイもの”をご紹介します(イメージ画像)



ふるさとの大自然を体当たりレポート(イメージ画像)

■ YouTubeチャンネル「JALふるさとプロジェクト」概要

チャンネルURL : <https://www.youtube.com/channel/UCRsEMQfz653Mnm4s513uoMQ>

配信頻度 : 週2本 (予定)

配信内容 : 料理、伝統文化体験、自然体験などの社員発信型動画を配信中です。

◆ JALの新たな事業

マーケティングリサーチ事業において、客室乗務員のスキルを活かした新たな取り組みを開始しました。



新規事業

客室乗務員を対象としたマーケティングリサーチ事業「JALキャビンアテンダントビジネスリサーチ」を開始

客室乗務員の、国内外のお客さまの多様なニーズに合わせたサービス業務の経験や、乗務を通してさまざまな国へ訪問することで培ってきた豊かな知見・磨かれた感性を活かして、企業などのマーケティングリサーチを担う「JALキャビンアテンダントビジネスリサーチ」を開始しました。マーケティングの対象は、国内、海外6都市の基地に所属する客室乗務員約7,000名となります。今後もより多様なニーズをもつ企業さまのご要望にお応えできるよう、高品質で確かなデータを提供していきます

■ プログラム概要

1. 客室乗務員へのアンケート調査

商品やサービスに対して、お客さまのニーズ・対象層(年齢・居住地など)に適合する客室乗務員がアンケートに回答し、結果をフィードバックします。

2. サンプリング(アンケートを含む)

新商品や販売に力を入れたい商品など、客室乗務員が一定期間モニターを実施し、商品価値の向上や品質改善に有用なデータをご提供します。商品の認知度向上を主目的とした、アンケート無しのサンプリングのみも承ります。

3. グループインタビュー(座談会)

4~6名の客室乗務員が実際に商品やサービスを使用・体験し、アンケートだけでは拾うことのできない消費者目線の「生の声」をお伝えます。さまざまな角度からの幅広い意見やアイデアを聴取することができます。

4. 共同開発

コラボレーション商品・新商品の開発に向けて、客室乗務員が商品開発のサポートをします。フライトを通して培ったチームワーク・感度の高いアンテナから生まれる客室乗務員ならではのアイデアを提供します。

お問い合わせ先 : cabin_research@jal.com